

(5) 婚姻・離婚の推移

● 近年、婚姻は微増傾向、離婚は横ばい傾向、婚姻率と離婚率の差が拡大傾向

倉吉市の婚姻数・離婚数の推移をみると、婚姻件数は平成15年からの10年間の平均は約250件となっています。

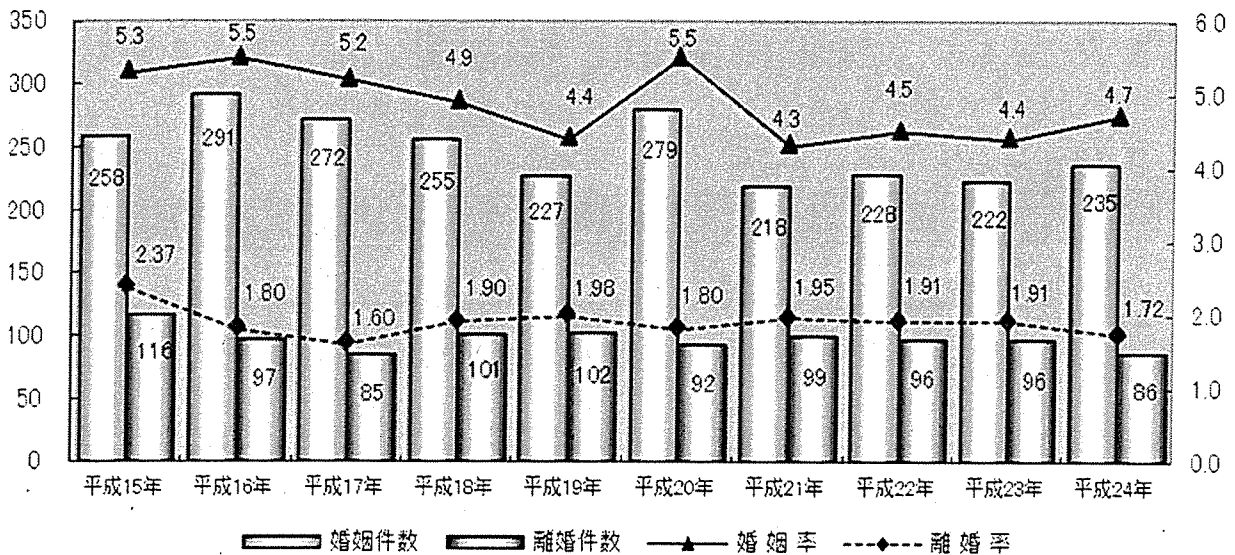
婚姻率(人口千人あたりの婚姻数)は4.3~5.5の間で推移し、10年間の平均は約5.0となっています。平成19年までは低下傾向にありましたが、平成21年以降はやや上昇傾向に転じています。

一方、離婚件数の10年間の平均は約100件となっており、離婚率(人口千人あたりの離婚数)は1.60~2.37の間で推移し、10年間の平均は約2.0となっています。近年は概ね横ばい傾向にありましたが、平成24年は低下に転じています。 【表-3】 【図-7】

表-3 婚姻件数、離婚件数、婚姻率、離婚率の推移(鳥取県人口動態統計調査)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平均
婚姻件数	258	291	272	255	227	279	218	228	222	235	249
離婚件数	116	97	85	101	102	92	99	96	96	86	97
婚姻率	5.3	5.5	5.2	4.9	4.4	5.5	4.3	4.5	4.4	4.7	5.0
離婚率	2.37	1.80	1.60	1.90	1.98	1.80	1.95	1.91	1.91	1.72	2.00

図-7 結婚件数・離婚件数等の推移(鳥取県人口動態調査)

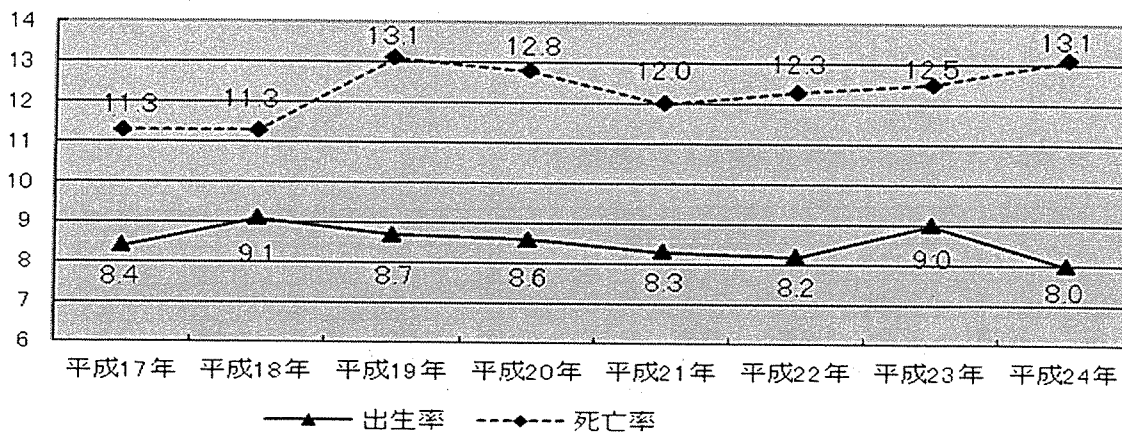


(6) 出生率・死亡率の推移

● 出生率は横ばい状態、死亡率は増加の傾向にある

倉吉市の出生率・死亡率(人口千人あたりの出生数・死亡数)の推移をみると、平成17年からの8年間で見ると、出生率の平均は8.5であり減少傾向は見られますが、概ね横ばいで推移しているのに対し、死亡率の平均は12.3となっているものの、近年はやや増加傾向で推移しています。このことは自然動態でも見て取れます。【図-8】

図-8 出生率・死亡率の推移(鳥取県人口動態調査)



(7) 合計特殊出生率の推移

● 出生数、出生率とも近年減少の傾向にある

倉吉市の平成15年から平成24年までの合計特殊出生率の推移をみると、年ごとに上昇・下降を繰り返しながらも、緩やかな減少傾向にあります。また、鳥取県、国と比較すると平成16年以降は一貫して上回る水準で推移しています。【図-9】

図-9 合計特殊出生率の推移(鳥取県人口動態調査)

